



2021年3月25日
東日本旅客鉄道株式会社

メンテナンス社員が着用する制服のリニューアルなどについて

JR東日本では、車両や設備のメンテナンスなどを担当する社員が、グレーを基調とした制服を2004年以来16年にわたって着用してきました。

このたび、グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向けた歩みを全社員で加速していくため、車両や設備のメンテナンスで別々となっていた制服を同一デザインとし、2021年4月より順次リニューアルします。

1 コンセプト

お客さまなどに「安心」「信頼」を感じていただくとともに、社員がより快適に着られ、誇りを持てる制服としました。

2 主な特徴

- ① 駅社員などの制服と同様に、「正統」と「品格」を表すダークネイビーを基調に、上衣にはゴールドとコーポレートカラーのグリーンを組み合わせたラインを採用しました。

- ・男女ともに同色・同素材の半袖・長袖シャツを着用
- ・制帽は、上衣・ズボンと同色のダークネイビーで、ベースボールキャップタイプを採用
- ・イベント時の着用を想定した区所長用制服を新たに作製

- ② 職制が分かるよう、上衣の袖のライン(区所長は2本、その他は1本)および、制帽(5種類)で区分しました。
- ③ 車両のメンテナンスなどを担当する社員が着用する制服と、設備のメンテナンスなどを担当する社員が着用する制服のデザインを同一としました。また、男女同一のデザインですが、シルエットやサイズ展開は体形の性差を考慮しています。
- ④ 夏服と冬服は同色とし、作業の安全性(耐久性・難燃性・制電性)を確保するとともに、社員の意見をもとに快適性(通気性・保温性・伸縮性・速乾性)、利便性を改善しました。
- ⑤ 環境に配慮した再生ポリエステルを使用します。

3 着用開始日

- 車両のメンテナンスをする社員 : 2021年4月1日
設備のメンテナンスをする社員 : 2021年7月1日

メンテナンス社員が着用する制服 全服種

<冬・夏>



<クールビズ>

<区所長用>



4 その他

資源循環に関する社員の意識醸成を図ることを目的に、回収した旧制服の一部を繊維化しエコバッグを制作し、社員に配布しました。



<エコバッグ>